

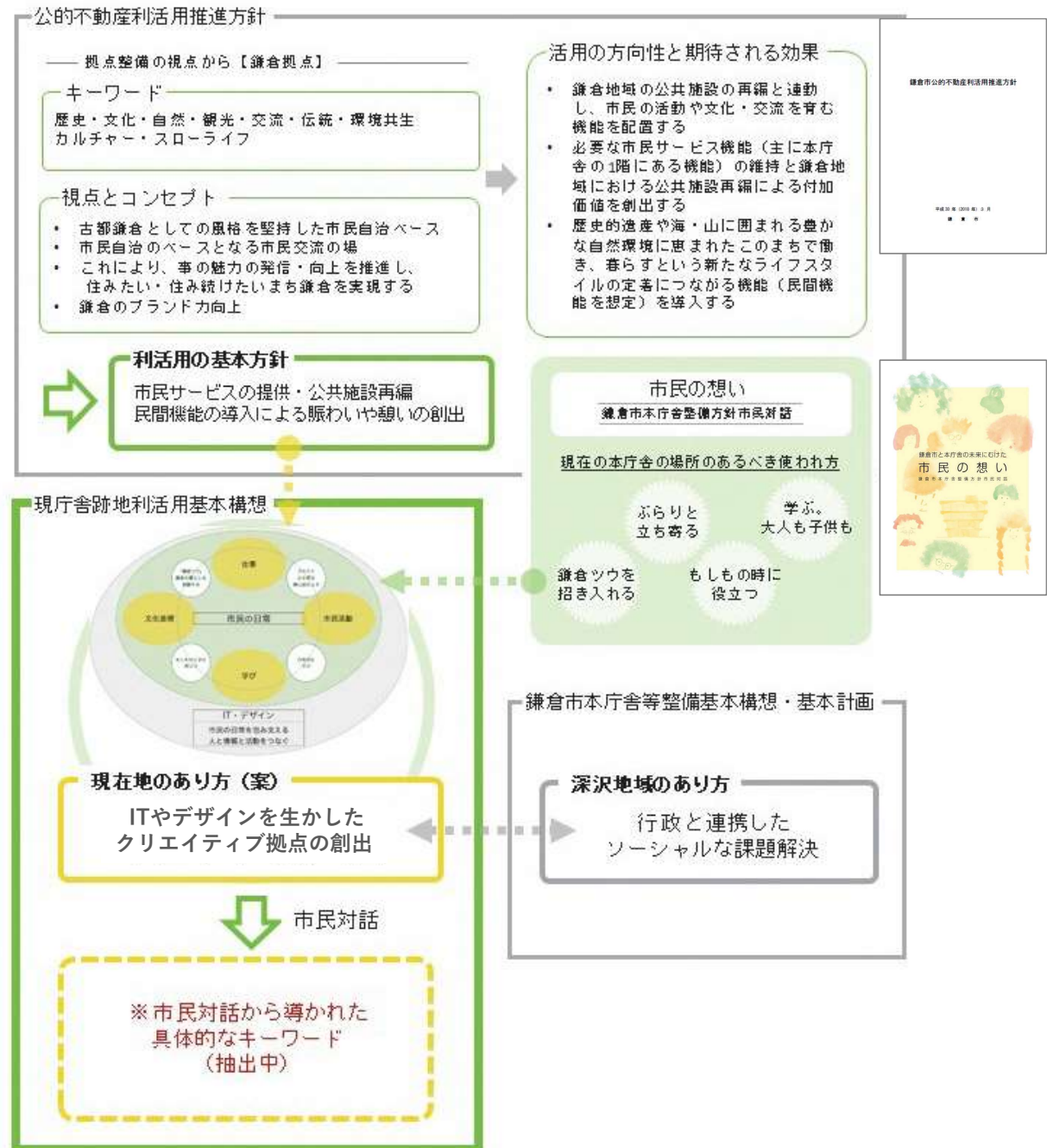
現庁舎跡地利活用基本構想の策定方針について

2021.03.29 第8回鎌倉市本庁舎等整備委員会

基本構想の策定方針

基本構想の策定方針

- 『公的不動産利活用推進方針』では、現在地（現庁舎跡地）の利活用の基本方針を「市民サービスの提供・公共施設再編、民間機能の導入による賑わいや憩いの創出」と示している。
- 冊子『市民の想い』では、「現在の本庁舎の場所のあるべき使われ方」について、過去に実施した市民対話から得られた意見をまとめている。
- これらの考え方を基本に、全市的な行政サービスのあり方を視野に入れながら、新たな本庁舎等の整備の検討を進めている深沢地域との関係性・連携も考慮し、「現在地（現庁舎跡地）のあり方」について検討を進めていく。
- また、令和2年度から新たに進めている「市民対話」を通して、市民意見の把握や具体的なキーワードを抽出を行い、基本構想策定の参考にしていく。



■ 現在地（現庁舎跡地）に関するポイントの整理【参考】

鎌倉地域 キーワード	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">歴史</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">文化</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自然</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">観光</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">交流</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">伝統</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">環境共生</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">カルチャー</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">スローライフ</div> </div>
鎌倉拠点 視点とコンセプト	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">市民自治のベース</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">鎌倉のブランド向上</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「住みたいまち鎌倉」の実現</div> </div>
現在地（現庁舎跡地） 方向性	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">市民サービスの提供 公共施設再編</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">民間機能の導入</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">賑わいや憩いの創出</div> </div>
市民の想い 「現在の本庁舎の場所の あるべき使われ方とは？」	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> ぶらりと 立ち寄る 居心地のよさ </div> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> 日常的に 学ぶ </div> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> 「鎌倉ツウ」 鎌倉の暮らしを 体験する </div> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> もしものときに 役立つ </div> </div>

■ 基本構想の概要（案）

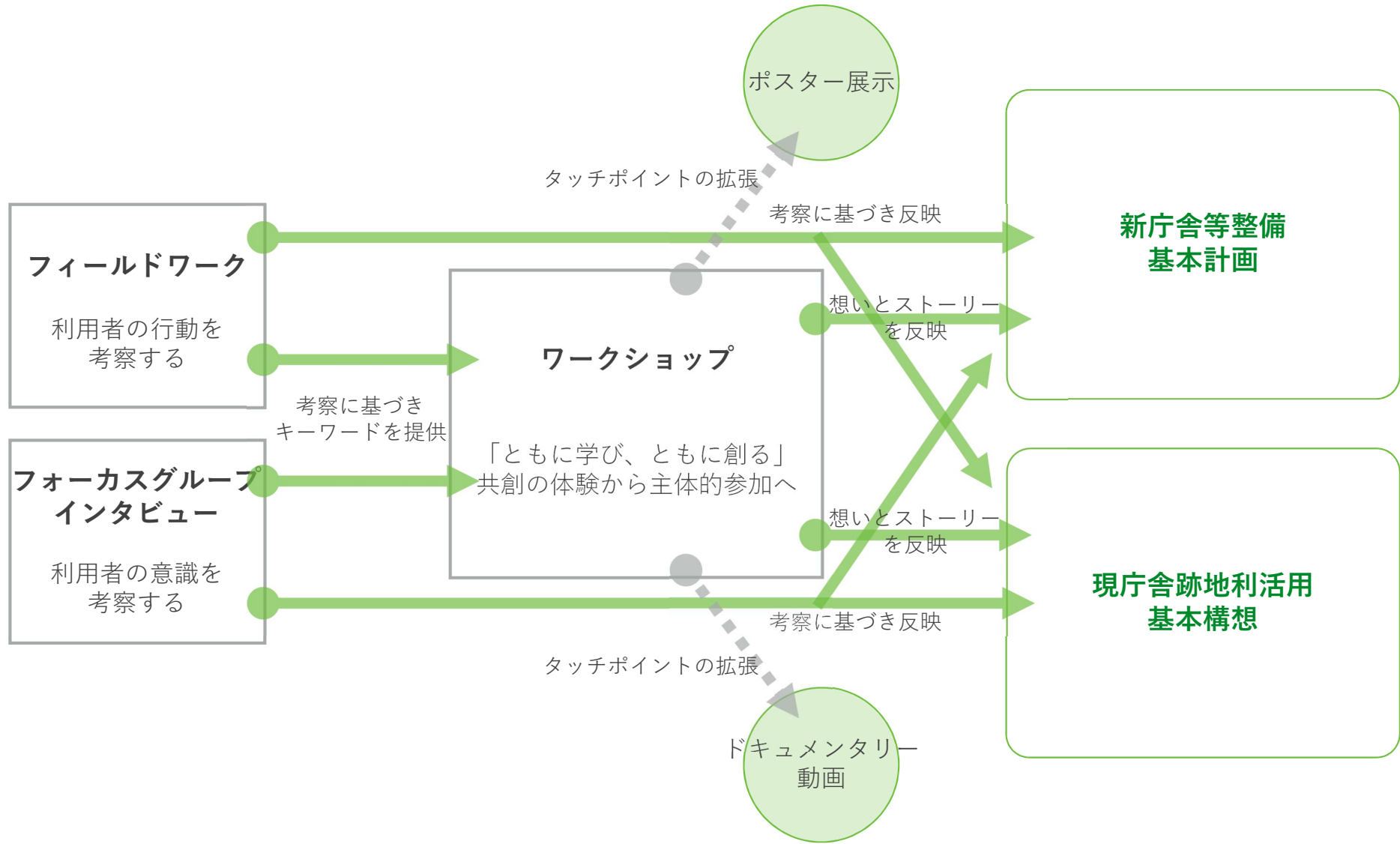
章	節	記載内容のポイント
第1章 基本構想策定の経緯		
	1-1 策定の目的	<ul style="list-style-type: none"> 現在地利活用の検討、基本構想策定の目的に関する整理。
	1-2 鎌倉市本庁舎等整備の経緯・状況整理	<ul style="list-style-type: none"> 現庁舎跡地の状況整理 各種行政計画の位置付け。 本庁舎整備の経緯。 まちづくり・現在地の方向性。 本庁舎整備の進捗概要
	1-3 基本構想策定の検討体制	<ul style="list-style-type: none"> 会議体と市民協働との関係性の整理。 <ul style="list-style-type: none"> 庁内検討体制 鎌倉市本庁舎整備委員会 市民対話（フィールドワーク・フォーカスグループインタビュー・ワークショップ） 庁内検討・整備委員会・市民対話の連携方法
第2章 現在地利活用の方向性（基本理念）		
	2-1 方向性・ビジョン	<ul style="list-style-type: none"> 本事業の方向性として基本理念、基本方針。 DXの推進等による、実空間と情報空間／デジタルの融合を前提とした、環境デザインの検討。 ※利活用において考えられる可能性をバリエーション（複数パターン）の形で示す。（後述） ここまでの経緯や、市民対話で得られた発見、参考事例を踏まえてのビジョンの再定義・現在地における可能性。
	2-2 導入する機能	<ul style="list-style-type: none"> 民間活用のイメージ。 必要機能の整理（方向性）。
第3章 市民対話 ①市民意識と状況の把握		
	3-1 実施目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> グループインタビュー・フィールドワークの目的。 実施施設・実施対象者・実施方法等の概要。
	3-2 市民意識に関する考察	<ul style="list-style-type: none"> グループインタビュー結果から得られる市民感情の分析結果・考察。
	3-3 施設の利用状況に関する考察	<ul style="list-style-type: none"> フィールドワーク結果から得られる施設の利用状況の分析結果・考察。
	3-4 新型コロナウイルス感染症の影響と市民感情の変化	<ul style="list-style-type: none"> グループインタビュー・フィールドワークの実施を通して考えられる新型コロナウイルス感染症拡大による市民感情や施設の利用状況の変化。 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて検討・考慮すべき事項。
	3-5 災害時の対応状況及び市民意識	<ul style="list-style-type: none"> 防災に関する市民意識や災害時における現在地への期待、考察。

■ 基本構想の概要（案）

章	節	記載内容のポイント
第4章 市民対話 ②市民コミュニケーションの醸成		
	4-1 ワークショップの実施目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> ワークショップの目的、実施を通して目指すこと。 実施方法、参加者等の実施概要。
	4-2 市民対話によって描かれたビジョン	<ul style="list-style-type: none"> ワークショップの実施を通じた完成物（ポスター）。 市民共創で共有し、描かれたビジョン。 これまでの行政計画との比較・考察。
第5章 現庁舎跡地整備の規模やコスト		
	5-1 規模・コスト等に対する考察	<ul style="list-style-type: none"> 既存施設の利活用及び建替えに関する考察。 既存施設の条件整理（規模、耐震性能の把握、耐震改修等の前提設定含む） 規模及びコストの検証 民間活用の可能性（民間資金活用の可能性、事業者ヒアリングの結果、事業手法の種類） <p>※事業者ヒアリングによって、本事業における事業性や収益性の有無についてではなく、本事業の方向性の中で事業者にどのようなアイデアがあるかをリサーチのうえ可能性のかたちで記載する。</p>
第6章 現庁舎跡地整備とまちづくり		
	6-1 各拠点との関係性	<ul style="list-style-type: none"> 三つの拠点（鎌倉地域・大船地域・深沢地域）の役割。 三つの拠点を中心としたまちづくり。 鎌倉地域と深沢地域の関係性。
	6-2 鎌倉拠点におけるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 周辺施設との役割における関係性。 周辺施設との人の動きについての関係性。
第7章 今後の進め方		
	7-1 整備事業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> 事業スケジュール。
	7-2 市民共創の進め方	<ul style="list-style-type: none"> 構想策定以後のタスク、実施手順、推進体制。 広報による発信（映像コンテンツの活用も含む）。
補章 先行事例の検証		
	補-1 先行事例の整理	<ul style="list-style-type: none"> 4-1 方向性・ビジョン検討のために参照した先行事例の整理。

市民対話の実施状況

■ 令和2～3年度本庁舎等整備市民対話 全体像



1

フォーカスグループインタビュー

- 2021年2月に以下の3団体に対してオンラインにてフォーカスグループインタビューを実施した。
（景観整備機構（一般社団法人ひと・まち・鎌倉ネットワーク）、出前講座受講者、子育て団体）
- 2021年3月月以降も引き続き他団体へ実施を予定している。

■候補団体：

出前講座受講者（深沢地域）、図書館利用団体、本庁整備市民対話参加者、鎌倉女子大、
学習センター利用団体、福祉センター利用団体 など

2

フィールドワーク

- 新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、3月中旬以降に実施を予定。
- 以下の施設での実施を想定している。

■実施予定施設：

本庁舎、支所（各地域）、図書館・学習センター（各地域）、鎌倉市福祉センター

3

ワークショップ

- 3月20日（土）に初回が開催となるワークショップの参加募集を2月20日（土）に開始。

- ワークショップ実施概要

■対象：

鎌倉市で暮らす方、働く方、学ぶ方（オンラインでの参加が可能な方）

■募集人数：

先着40名

■日時・開催方式：

第1回 令和3年3月20日（土） 10時00分～12時00分／オンライン開催

第2回 令和3年4月17日（土） 10時00分～12時00分／オンライン開催

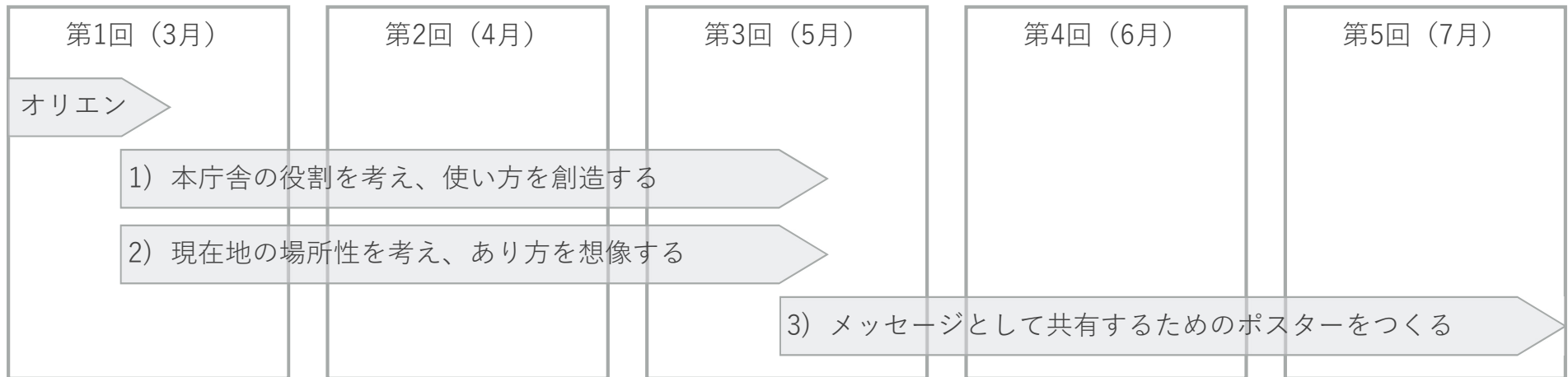
第3回 令和3年5月16日（日） 時間・場所・開催形式 調整中

第4回 令和3年6月20日（日） 時間・場所・開催形式 調整中

第5回 令和3年7月31日（土） 時間・場所・開催形式 調整中

※原則、全5回への参加。

■ ワークショップの進め方



オンライン開催

オフライン開催 (状況によりオンライン開催)

オンライン導入の目的

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止
- 新しい日常における、公共施設の機能・サービスを擬似的に体験しながら考えていく
- 鎌倉市の未来を考えたい市民の参加を促進する

オフラインの意義

- 幅広い世代、幅広い属性が参加するためには、現状ではオフライン (対面) でのコミュニケーションが必要 (「つくる」という意味においても同様に)
- オンラインとオフライン、それぞれでできることとできないことを整理する